

平成 2 8 年度事業計画（案）

自 平成 2 8 年 4 月 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

平成28年度 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 事業計画（案）

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産への登録（平成28年度の国内推薦資産、平成30年度の登録）を実現することにより、貴重な歴史遺産を将来に引き継いでいくとともに、古墳群をキーとした歴史と文化を活かしたまちづくりを推進するため、大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市及び関係団体が一体となって取り組むものとする。

今年度は、国内推薦資産に選定された後に文化庁と協議し、ユネスコ世界遺産センターへ提出する推薦書等を作成する。あわせて、世界遺産登録に向けた取り組みについて、広域的に情報発信し、機運の醸成に取り組む。

1 推進体制の整備（総合調整） 予算額 1,642千円

推進本部会議において、世界文化遺産登録に向けた方針や事業執行について協議・決定する。

(1) 推進本部会議等の運営 予算額 1,642千円

推進本部会議の決算及び予算、事業計画を審議・決定するため、推進本部会議を開催する。

また、推進本部会議で決定した方針を着実に実行するため定期的に幹事会を開催し、効率的な事務局運営を行う。

(2) 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を推進する議員連盟との連携

議員連盟、府民会議、市長会、町村長会と共同で、国への要望を行うとともに、東京での情報発信を行うため、講演会を開催する。

2 学術検討・条件整備 予算額 42,435千円

ユネスコへ提出する推薦書等の作成を行う。推薦書等の記載に必要な調査・研究等事業を行う。

(1) 推薦書及び包括的保存管理計画作成 予算額 35,750千円

ユネスコ世界遺産センターへ提出する推薦書等（英語版）を作成する。推薦書の付属資料としてVR映像作品を作成する。

(2) 国・国内外の専門家との協議・研究

推薦書・包括的保存管理計画作成に向け国、国内外の専門家と協議・研究・類似資産調査を行うため以下の事業を実施する。 予算額 6,685千円

① 文化庁・宮内庁との協議・調整

文化庁・宮内庁と協議を行うとともに、連携して関連資料の作成を行う。

② 国際専門家会議の開催・日本イコモス国内委員との意見交換

国際的な視野から国内外の世界遺産・考古学等の専門家との意見交換を行う。

③ 推薦書作成検討委員会の開催

資産の価値、保存管理に精通している世界遺産、都市計画、考古学の専門家からなる委員会を開催し、学術的・専門的な立場から検討を加えるとともに、必要に応じて助言を得ながら、国際的に通用する内容の推薦書等を作成する。

④ 有識者会議の運営

考古学・古代史、景観等の専門家による有識者会議を開催し、専門的・学術的な課題を整理・検討する。

⑤ 世界遺産委員会出席と類似資産調査

イスタンブールで開催される第40回ユネスコ世界遺産委員会に出席し、最新の世界文化遺産登録の状況調査や各国の世界遺産関係者との意見交換を行うとともに、トルコの類似資産（世界遺産暫定リスト記載資産）を視察し、推薦書に記載する比較分析の対象資産の調査を行う。

⑥ 世界考古学会議への参加

8月に京都で開催される世界考古学会議の研究分科会において、「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産としての価値等について意見交換するとともに、この会場を利用して、パネル展示等を行い、「百舌鳥・古市古墳群」の価値を伝えていく。

3 魅力創出・情報発信

予算額 29,593 千円

世界文化遺産登録に向けて百舌鳥・古市古墳群のさらなる認知度の向上や登録機運の醸成に向けて、シンポジウムの開催、首都圏におけるPRイベントの開催、府民会議・府内市町村等との連携によるPR事業等、幅広い層に向けて情報発信を実施していく。

(1) シンポジウムの開催

予算額 5,700 千円

平成28年4月に大阪で、国内推薦獲得後の平成29年3月には首都圏で、百舌鳥・古市古墳群の価値と世界文化遺産登録の動向について、更に理解を深めていただき、多くの方に世界文化遺産登録に向けて支援いただけるよう、専門家による講演や議論を行うシンポジウムを開催する。

(2) 首都圏におけるPRイベントの開催

予算額 20,000 千円

世界文化遺産登録に向けて百舌鳥・古市古墳群の全国における認知度向上を目的として、首都圏において、メディアに取り上げていただくことができるPRイベントを開催する。

(3) 国内推薦選定報告会議の開催（大阪府内）

予算額 700 千円

国内推薦獲得後、2年後の世界文化遺産登録に向けて、百舌鳥・古市古墳群の価値と世界文化遺産登録の動向について、大阪府民の理解を深めるために、府内各所において報告会議を開催する。

(4) 情報発信プロモーションの展開

予算額 2,058 千円

府民会議や府民会議に加入している民間企業と連携するなど、様々な機会を捉えて情報発信ツールを活用しターゲットに沿ったプロモーションを展開する。

① 民間企業と連携したPR事業の展開

府民会議に加入している民間企業に対して、百舌鳥・古市古墳群の価値や世界文化遺産登録に向けた現状について理解を深めて頂き、民間の広報ツールを活用したPR事業を行う。

② 各種イベント等を活用したPR

シンポジウムや大規模集客イベントを活用し、百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力、世界文化遺産の取り組みなどを伝えるためのPRを行う。

③ 各種情報発信ツールの作成及び活用

ウォーキング・マップやポスター、リーフレットなどの情報発信ツールについて、府民会議加入企業や交通各社、商業施設、観光事業者等の協力を得ながら、様々な場所やイベント等で配布・配架を行う。

(5) ホームページの運営

予算額 1,135 千円

全国及び海外に発信し、幅広い層への認知度向上を図るため、登録に向けた統一的なメッセージ、資産や地域に関する魅力的な情報、民間と連携した機運醸成事業の実施状況について、推進本部会議ホームページ（日本語版・英語版）を運営・更新する。

平成28年度 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 予算（案）

（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（収入の部）

（単位：千円）

科 目	予 算 額	備 考
分担金	53,670	大阪府 20,127,000円
		堺市 20,127,000円
		羽曳野市 6,708,000円
		藤井寺市 6,708,000円
雑収入	0	
繰越金	20,000	平成27年度収支残余金の繰越金
合 計	73,670	

（支出の部）

（単位：千円）

科 目	予 算 額	備 考
会議費	1,642	推進本部会議開催費、事務局運営経費 議員連盟・府民会議・市長会・町村長会と連携による要望
調査事業費	42,435	推薦書及び包括的保存管理計画作成費、文化庁・宮内庁との協議調整経費、国際専門家会議開催費、日本イコモス国内委員との意見交換経費、推薦書作成検討委員会開催費、有識者会議開催費、ユネスコ世界遺産委員会出席、類似資産調査、世界考古学会議への参加
情報発信事業費	29,593	首都圏イベント開催費、シンポジウム開催費、ホームページ運営経費、情報発信プロモーション経費
合 計	73,670	